

青木豊彦 講演会

ものづくりの魅力と まちづくり

人工衛星「まいど1号」に懸けた熱き思い！



2002年、中小企業が集まる東大阪の町工場から人工衛星打ち上げプロジェクトが始動した。そして、2009年1月、人工衛星「まいど1号」が宇宙へ飛び立った。中小企業の夢と誇りを載せて……プロジェクトの発起人であり、生みの親ともいわれる青木豊彦氏の宇宙への挑戦と「ものづくりのまち」復活の物語。

- 日時 平成27年 11月17日(火)
開演PM7:00～(開場PM6:30)
- 会場 東区プラザホール(東区役所2階)
- 定員 250名(先着) 参加費 無料

お申し込み

電話で新潟市役所コールセンター
☎025-243-4894へ

◎お申し込み受付／平成27年10月27日(火)～

特別展示



NIIGATA SKY PROJECTで開発中の
小型無人飛行機(UAS)用ジェットエンジン

主催

新潟市東区地域課

ものづくりの魅力とまちづくり

人工衛星「まいど1号」に懸けた熱き想い!

全国的に話題となった人工衛星「まいど1号」。

その発起人であり、生みの親ともいわれる、

青木豊彦氏の「まいど1号打ち上げプロジェクト」に懸けた想いをはじめ、「ものづくりのまち」活性化への取り組みなどをお聞きします。



Profile

東大阪市モノづくり親善大使
航空機部品製造業
株式会社アオキ 取締役会長
青木 豊彦

中小企業が当初、約8,000社集まるものづくりの町、東大阪で「メイド・イン・東大阪」の人工衛星を打ち上げようと、計画をスタートさせた。2002年7月に設立された「東大阪宇宙関連開発研究会」(東大阪商工会議所)会長。12月には、研究会メンバーのうち5社と共に「東大阪宇宙開発協同組合」を設立、理事長に就任。

小学生の頃に目にしたロケット打ち上げのニュース映画や、大阪万博で見た「月の石」を通して出会った“航空宇宙”を我が町の活性化のテコとする。

もともとチャレンジ精神旺盛で、農業用機械の部品製造が主だった父の会社で新分野開拓に努め、ロボット部品や航空機部品への進出を果たした。

「ものづくりにはプライドを持たなければならない」との思いは、同社を世界的航空機メーカーであるボーイング社の認定工場に押し上げた。

航空宇宙産業を東大阪の地場産業にしたいというのが夢。「若者がものづくりに魅力を感じて集まってくる大阪を、世界の楽市・楽座にしたい」と期待する。

経歴

- 1945年 ● 大阪府生まれ(70歳)
- 高校卒業後、父が経営する青木鉄工所に入社
- 1979年 ● 社名青木鉄工株式会社と変更し、専務取締役就任
- 1995年 ● 社名を株式会社アオキと変更し、二代目社長に就任
- 大阪府海外交流研究会 会長に就任
- 1997年 ● 米ボーイング社の認定工場となる
- 2002年 7月 ● 東大阪宇宙関連開発研究会設立 会長に就任
- 12月 ● 東大阪宇宙開発協同組合設立 理事長に就任
- 2005年 2月 ● 東大阪宇宙開発協同組合 理事長退任
- 4月 ● 東大阪市モノづくり親善大使に任命される
- 2008年 5月 ● 有限責任事業組合航空宇宙開発まいど(LLPまいど)設立 会長就任
- 6月 ● ベストファーザーin関西・ものづくり部門受賞
- 2009年 1月 ● 種子島宇宙センターより国産ロケットH-IIAで人工衛星「まいど1号」の打ち上げに成功
- 11月 ● 涙と笑いの奮闘記「まいど！」を出版
- 2010年 5月 ● 電気学会より電気学術振興賞・進歩賞受賞
- 2008年～
- 2010年 ● 大阪大学「イノベーションリーダー養成プログラム」外部評価委員
- 2012年 2月 ● 無人機(VTOL)シンガポールエアショーに出展
- 5月 ● 四條畷市観光大使に任命される
- 2013年 8月 ● たたらの里奥出雲町特別顧問に任命される
- 9月 ● 一般財団法人ものづくり医療コンソーシアム設立 理事に就任
- 11月 ● 株式会社アオキ 会長に就任
- 2014年 4月 ● 国立和歌山大学客員教授に任命される
- 4月 ● 大阪市立大学客員教授に任命される

お申し込み

◎ お申し込みはお電話で〔新潟市役所コールセンター〕
☎025-243-4894

◎ お申し込み受付期間
平成27年10月27日(火)から11月16日(月)まで
朝8時から夜9時まで

お問い合わせ

◎ 東区地域課産業振興室 ☎025-250-2170

